一般社団法人日本衛生検査所協会　令和７年度事業報告

一般社団法人日本衛生検査所協会は、衛生検査所の資質の向上と検査技術の研鑽を図り、よって国民の健康の保持増進に寄与するため、令和７年度は、次のとおり各種事業を実施した。

◎会員数　　　令和７年４月１日　365 施設・令和８年３月 31 日　354 施設
［　入会会員数 4 施設・退会会員数 15 施設　］
◎賛助会員数　令和７年４月１日　69 施設・令和８年３月 31 日　72 施設
［　入会会員数　3 施設・退会会員数　0 施設　］

Ⅰ　会　議

１　理　事　会

①構　成

役　職	氏　名	所　属
会長	久川芳三	㈱保健科学研究所
副会長	近藤健介	㈱ビー・エム・エル
〃	河田與一	㈱ファルコバイオシステムズ
〃	茅野明男	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	松本誠	㈱エスアールエル
専務理事	保知戸和憲	(一社) 日本衛生検査所協会
常務理事	山下哲次	(一社) 日本衛生検査所協会
常任理事	伊達忠應	札幌臨床検査センター㈱
〃	橋本充	㈱江東微生物研究所
〃	大堀春夫	㈱江東微生物研究所
〃	丹野博	㈱キュービクス
〃	横山強	(一財) 総合保健センター
〃	広田周一	㈱近畿予防医学研究所
〃	近本陽一	㈱福山臨床検査センター
〃	岡内伸介	㈱四国中検
〃	久米大輔	㈱キューリン
理事	土井克秦	㈱第一岸本臨床検査センター
〃	伊丹淳	㈱サンリツ
〃	杉田宏充	㈱武蔵臨床検査所
〃	早川吏	㈱早川予防衛生研究所
〃	今井利光	㈱メディック
〃	大藪正樹	(一社) 京都微生物研究所
〃	杉村利彦	㈱中央微生物検査所
〃	田端隆彦	日本医学㈱
〃	森田崇一郎	㈲久留米臨床検査センター
〃	荒井信貴	㈱ビー・エム・エル
〃	馬場直樹	㈱保健科学研究所
〃	三柴雅昭	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	久川聡	㈱保健科学研究所
〃	山口敏和	(一社) 日本衛生検査所協会
監事	飛鳥田功	㈱京浜予防医学研究所
〃	勝間田清人	㈱日本医学臨床検査研究所
〃	森山高行	公認会計士・税理士森山高行事務所

R8.3.31 現在（敬称略）

②開 催 状 況

回	開催年月日	審　議　事　項	備　考
第1回	令和7年 5月20日	①令和6年度事業報告及び決算報告に関する件 ②役員の一部変更に関する件 ③病理組織検査結果報告書に関する会員への要請文書に関する件 ④規則の改定に関する件 ⑤会員の入退会に関する件	平均 出席率 89.1%
第2回	令和7年11月26日	①副会長の選定及び担当委員会に関する件 ②定時総会に関する件 ③令和8年度事業基本方針(案)及び予算に関する件 ④役員改選の日程に関する件 ⑤日本小児感染症学会からの「届出疾患の検査項目が陽性時の注釈記載について」 の要望に関する件 ⑥厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業への協力等に関する件 ⑦日衛協就業規則等諸規程の改訂に関する件 ⑧日衛協賀詞交歓会開催日程に関する件 ⑨会員の入退会に関する件	
第3回	令和8年 3月26日	①令和8年度事業計画（案）に関する件 ②令和8年度支部交付金(案)及び予算(案)に関する件 ③日衛協定時総会に関する件 ④令和8年度協会表彰候補者に関する件 ⑤規程類の改訂に関する件 ⑥ガイドラインの改訂に関する件 ⑦会員の入退会に関する件 ⑧その他	

2 常任理事会

①構　成

役　職	氏　名	所　属
会長	久川　芳三	㈱保健科学研究所
副会長	近藤　健介	㈱ビー・エム・エル
〃	河田　興一	㈱ファルコバイオシステムズ
〃	茅野　明男	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	松本　誠	㈱エスアールエル
専務理事	保知戸　和憲	(一社)日本衛生検査所協会
常務理事	山下　哲次	(一社)日本衛生検査所協会
常任理事	伊達　忠應	札幌臨床検査センター㈱
〃	橋本　充	㈱江東微生物研究所
〃	大堀　春夫	㈱江東微生物研究所
〃	丹野　博	㈱キューピクス
〃	横山　強	(一財)総合保健センター
〃	広田　周一	㈱近畿予防医学研究所
〃	近本　陽一	㈱福山臨床検査センター
〃	岡内　伸介	㈱四国中検
〃	久米　大輔	㈱キューリン

R8.3.31現在（敬称略）

②開 催 状 況

回	開 催 年 月 日	審 議 事 項	備 考
第１回	令和７年７月 24 日	①令和７年度定時総会に関する件 ②令和７年度臨床検査普及月間に関する件 ③令和７年度（第51回）臨床検査精度管理調査に関する件 ④厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業への協力等に関する件	平均 出席率 93.8％
第２回	令和８年１月 22 日	①令和８年度事業計画（案）に関する件 ②令和８年度支部交付金(案)及び予算(案)に関する件 ③規程類の改訂に関する件 ④令和８年度理事会・各委員会等の開催日程等に関する件	

３ 委 員 会

（１）総務労務委員会

① 目 的

協会事業計画の樹立運営並びに関連事項の検討

② 構 成

役 職	氏 名	所 属
担当副会長	茅野 明男	㈱ＬＳＩメディエンス
委員長	横山 強	(一財)総合保健センター
副委員長	森田 崇一郎	㈲久留米臨床検査センター
委員	草野 宏彰	㈱ビー・エム・エル
〃	戎 剛正	㈱ビー・エム・エル
〃	黒田 隆	㈱ビー・エム・エル
〃	大藪 正樹	(一社)京都微生物研究所
〃	藤尾 耕造	㈱福山臨床検査センター
〃	篠原 健	㈱ビー・エム・エル

R8.3.31 現在（敬称略）

③開催状況

回	開 催 年 月 日	審 議 事 項	備 考
第１回	令和７年７月 15 日	①定時総会について ②令和７年度臨床検査普及月間大会の開催について ③令和７年度委員会活動について	平均 出席率 88.9％

回	開催年月日	審議事項	備考
第2回	令和7年9月16日	①令和7年度臨床検査普及月間大会について ②定時総会について ③各支部令和6年度収支決算について ④日衛協就業規則等諸規程の改訂について ⑤令和7年度委員会事業について ⑥日衛協令和8年賀詞交歓会開催日程について	
第3回	令和7年11月18日	①令和7年度臨床検査普及月間大会について ②日衛協令和8・9年度役員選任について ③日衛協令和8年度事業基本方針について ④日衛協令和8年度予算編成について ⑤規程類の改訂について ⑥各支部令和6年度収支決算について ⑦総務労務委員会事業について	
第4回	令和8年1月20日	①日衛協令和8年度事業計画（案）について ②日衛協令和8年度予算（案）について ③日衛協令和8・9年度役員選任について ④規程類の改訂について ⑤令和7年度支部月間大会について ⑥日衛協令和8年賀詞交歓会開催結果について ⑦総務労務委員会令和8年度開催スケジュールについて	
第5回	令和8年3月17日	①日衛協令和8年度事業計画（案）について ②日衛協令和7年度収支決算見込み及び令和8年度予算（案）について ③規程類の改訂について ④令和8年度定時総会について	

（2）学術委員会

①目　的

衛生検査に係る学術・技術の研鑽と振興並びに関連事項の検討

②構　成

［学術委員会］

役職	氏名	所属
担当副会長	近藤　健介	㈱ビー・エム・エル
委員長	近本　陽一	㈱福山臨床検査センター
副委員長	奥原　俊彦	㈱福山臨床検査センター
〃	杉田　宏充	㈱武蔵臨床検査所
委員	神谷　厚	札幌臨床検査センター㈱
〃	宇野　浩一	㈱日本微生物研究所
〃	河村　常作	㈱アルプ
〃	古畑　健司	㈱ビー・エム・エル
〃	荒木　年夫	㈱大阪血清微生物研究所
〃	谷本　光章	㈱四国中検
〃	矢島　佑一	㈲久留米臨床検査センター

R8.3.31現在（敬称略）

［学術委員会ワーキンググループ（学術研究発表会検討ＷＧ１）］

役　職	氏　　名	所　　　　属
副委員長	奥原　俊彦	㈱福山臨床検査センター
委員	神谷　　厚	札幌臨床検査センター㈱
〃	宇野　浩一	㈱日本微生物研究所
〃	谷本　光章	㈱四国中検

R8.3.31 現在（敬称略）

［学術委員会ワーキンググループ（衛生検査所教育検討ＷＧ２）］

役　職	氏　　名	所　　　　属
副委員長	杉田　宏充	㈱武蔵臨床検査所
委員	荒木　年夫	㈱大阪血清微生物研究所
〃	矢島　佑一	㈲久留米臨床検査センター

R8.3.31 現在（敬称略）

［学術委員会ワーキンググループ（微生物関連ＧＬ作成ＷＧ３）］

役　職	氏　　名	所　　　　属
副委員長	奥原　俊彦	㈱福山臨床検査センター
委員	宇野　浩一	㈱日本微生物研究所
〃	古畑　健司	㈱ビー・エム・エル

R8.3.31 現在（敬称略）

［学術委員会ワーキンググループ（精度管理・ＱＭＳ運用ＧＬ作成ＷＧ４）］

役　職	氏　　名	所　　　　属
副委員長	奥原　俊彦	㈱福山臨床検査センター
〃	杉田　宏充	㈱武蔵臨床検査所
委員	神谷　　厚	札幌臨床検査センター㈱
〃	河村　常作	㈱アルプ

R8.3.31 現在（敬称略）

［学術委員会ワーキンググループ（対外的学術検討ＷＧ６）］

役　職	氏　　名	所　　　　属
副委員長	奥原　俊彦	㈱福山臨床検査センター
〃	杉田　宏充	㈱武蔵臨床検査所
委員	河村　常作	㈱アルプ
〃	荒木　年夫	㈱大阪血清微生物研究所
〃	矢島　佑一	㈲久留米臨床検査センター

R8.3.31 現在（敬称略）

［学術委員会ワーキンググループ（検査血液学会に関する検討WG）］

役　職	氏　名	所　属
副委員長	奥原俊彦	㈱福山臨床検査センター
委員	荒木年夫	㈱大阪血清微生物研究所
〃	矢島佑一	㈲久留米臨床検査センター
関東甲信越支部学術委員長	関根康司	㈱江東微生物研究所
常務理事	山下哲次	(一社)日本衛生検査所協会

R8.3.31 現在（敬称略）

③ 開催状況

［学術委員会］

回	開催年月日	審議事項	備考
第1回	令和7年5月19日	①令和7年度（第31回）学術研究発表会全国大会について ②日本臨床検査専門学院について ③医療フォーラム21について ④ガイドラインの改訂について ⑤その他 ・日本検査血液学会凝固検査用サンプル取扱い標準化ワーキンググループからのアンケート協力要請について ・病理組織結果報告書要請文の件 ・日本小児感染症学会からの「届出疾患の検査項目が陽性時の注釈記載」の要請について	平均出席率100％
第2回	令和7年7月25日	①令和7年度学術委員会事業活動について ②令和7年度（第31回）学術研究発表会全国大会開催結果について ③日本臨床検査専門学院第50期(令和7年度)血液学コースについて ④医療フォーラム21について ⑤ガイドラインの改訂について ⑥病理組織検査結果報告書について ⑦日本検査血液学会との事業協力について ⑧日本小児感染症学会等からの要請について ⑨今後の開催スケジュールについて ⑩その他 ・精度管理調査について	
第3回	令和7年12月12日	①令和8年度（第32回）学術研究発表会全国大会について ②日本臨床検査専門学院第50期(令和7年度)血液学コースについて ③ガイドラインの改訂について ④日衛協ホームページの改訂について ⑤日本検査血液学会との事業協力について ⑥日本小児感染症学会等からの要請について ⑦今後の開催スケジュールについて ⑧その他 ・当協会の令和7年度精度管理調査について	

回	開催年月日	審議事項	備考
第4回	令和8年3月13日	①令和8年度（第32回）学術研究発表会全国大会について ②日本臨床検査専門学院について ③ガイドラインの改訂について ④その他 ・検査結果に届出疾患であることを明示する取り組みについて ・令和8年度診療報酬改定について ・日衛協令和7年度（第51回）臨床検査精度管理調査について ・今後の開催スケジュールについて	

［学術委員会ワーキンググループ（合同)］

回	開催年月日	審議事項	備考
第1回	令和7年10月29日	①各ワーキンググループの検討課題について 1)学術研究発表会検討 WG１ 2)衛生検査所教育検討 WG2 3)微生物関連ＧＬ作成 WG3 4)精度管理・QMS 運用 GL 作成 WG4	平均出席率100.0%

［学術委員会ワーキンググループ（検査血液学会に関する検討ＷＧ)］

回	開催年月日	審議事項	備考
第1回	令和7年4月15日	①日本検査血液学会凝固検査用サンプル取扱い標準化ワーキンググループからのアンケート協力要請について	平均出席率100.0%
第2回	令和7年5月29日	①日本検査血液学会凝固検査用サンプル取扱い標準化ワーキンググループからの アンケート協力要請について	

（３）広報委員会

① 目　的

広報活動の推進並びに関連事項の検討

② 構　成

役職	氏名	所属
担当副会長	松本　誠	㈱エスアールエル
委員長	広田周一	㈱近畿予防医学研究所
副委員長	橋本　充	㈱江東微生物研究所
委員	夏井寛之	㈱保健科学研究所
〃	伊丹　淳	㈱サンリツ
〃	古賀美純	㈱アルプ
〃	松本幸一	㈱エスアールエル
〃	下田哲也	㈲エフエムエルサービス
〃	江川智広	㈱シー・アール・シー

R8.3.31 現在（敬称略）

③ 開 催 状 況

回	開催年月日	審　　議　　事　　項	備 考
第1回	令和7年4月23日	①協会紙「ラボ」5月号について（確認） ②協会紙「ラボ」6月号・7月号の企画編集案について ③広報事業について	平均 出席率 79.7%
第2回	令和7年5月19日	①協会紙「ラボ」6月号について（確認） ②協会紙「ラボ」7月号・8月号・9月号の企画編集案について ③協会紙「ラボ」11月号特集記事について ④令和7年度臨床検査普及月間スローガン案の検討について ⑤広報委員会事業について ⑥今後の委員会開催スケジュールについて	
第3回	令和7年7月23日	①協会紙「ラボ」8月号について（確認） ②協会紙「ラボ」9月号・10月号の企画編集案について ③令和7年度臨床検査普及月間ポスター（検査と歩んだ半世紀　変わりゆく社会に変わらぬ使命　信頼の検査とともに）企画案について ④広報委員会事業について ⑤第26回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」の応募状況（中間報告）について ⑥今後の委員会開催スケジュールについて	
第4回	令和7年8月27日	①協会紙「ラボ」9月号について（確認） ②協会紙「ラボ」10月号・11月号の企画・編集案について ③令和7年度臨床検査普及月間ポスター（検査と歩んだ半世紀　変わりゆく社会に変わらぬ使命　信頼の検査とともに）企画案について ④広報委員会事業について ⑤第26回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」の応募状況（最終報告）について ⑥今後の開催スケジュールについて	
第5回	令和7年9月10日	①協会紙「ラボ」10月号について（確認） ②協会紙「ラボ」11月号・12月号の企画・編集案について ③第26回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」の採点集計結果について ④令和7年度臨床検査普及月間ポスター（検査と歩んだ半世紀　変わりゆく社会に変わらぬ使命　信頼の検査とともに）企画案について ⑤広報事業について ⑥今後の開催スケジュールについて	

回	開催年月日	審　議　事　項	備考
第６回	令和７年10月22日	①協会紙「ラボ」11月号について（確認） ②協会紙「ラボ」12月号・１月号の企画・編集案について ③令和７年度臨床検査普及月間ポスター（検査と歩んだ半世紀　変わりゆく社会に変わらぬ使命　信頼の検査とともに）について ④広報事業について	
第７回	令和７年11月25日	①協会紙「ラボ」12月号について（確認） ②協会紙「ラボ」１月号・２月号・３月号の企画編集案について ③広報事業について	
第８回	令和８年１月21日	①協会紙「ラボ」２月号について（確認） ②協会紙「ラボ」３月号・４月号の企画編集案について ③広報事業について ④令和８年度広報委員会事業計画について ⑤その他 ・次回の開催日について	
第９回	令和８年２月25日	①協会紙「ラボ」３月号について（確認） ②協会紙「ラボ」４月号・５月号の企画編集案について ③広報事業について ④令和８年度広報委員会事業計画について ⑤その他 ・次回の開催日について	
第10回	令和８年３月25日	①協会紙「ラボ」４月号について（確認） ②協会紙「ラボ」５月号・６月号の企画編集案について ③広報事業について ④第27回エッセイ「検査がくれたもの」一般公募について ⑤その他 ・日衛協令和８年度定時総会について ・次回以降の開催について	

（４）全国運営管理委員会

① 目　的

衛生検査所の運営管理の向上並びに関連事項の検討

② 構　成

役　職	氏　名	所　属
委員長	大堀春夫	㈱江東微生物研究所
副委員長	庄司吉人	札幌臨床検査センター㈱
〃	早川　吏	㈱早川予防衛生研究所
〃	田端隆彦	日本医学㈱
委員	土井克泰	㈱第一岸本臨床検査センター
〃	丸野大士	㈱江東微生物研究所
〃	木下雅博	㈱保健科学研究所
〃	平田隆志	（一社）シーピーエル
〃	今井利光	㈱メディック
〃	諸橋政志	（一財）総合保健センター
〃	猪尾龍伍	㈱兵庫県臨床検査研究所
〃	横見孝夫	㈱岡山医学検査センター
〃	吉田正則	㈱福山臨床検査センター
〃	加藤吉久	㈱四国中検
〃	金丸和久	㈱四国中検
〃	久米大輔	㈱キューリン
〃	藤井賢治	㈱パソラボ
〃	佐野栄治	㈱エスアールエル
〃	鈴木卓也	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	宇野幸嗣	㈱ビー・エム・エル
〃	永澤昌幸	㈱ファルコバイオシステムズ

R8.3.31 現在（敬称略）

③ 開催状況

回	開催年月日	審議事項	備考
第1回	令和7年6月10日	①衛生検査所の現状報告及び今後の取り組みについて 1)衛生検査所の雇用状況について 2)人材募集及び長期雇用事例について 3)検体集配車両等の無事故対策等の検討について ②検体検査受委託における諸問題について 1)公正競争規約遵守の推進について 2)新型コロナウイルス感染症について 3)受検率向上への取り組みについて ③大規模自然災害への対策（BCP）について ④社員のヘルスケアについて ⑤民間クレジットカード会社による営業活動について ⑥臨床検査における労務費の適切な価格転嫁要請文書について ⑦支部または自社において検討課題となっている事項について ⑧その他 1)中部支部からの報告 ⑨今後の開催ついて	平均 出席率 91.3%

回	開催年月日	審議事項	備考
第2回	令和7年7月22日	①衛生検査所の現状報告及び今後の取り組みについて 1)衛生検査所の雇用状況について 2)人材募集及び長期雇用事例について 3) 検体集配車両等の無事故対策等の検討について ②検体検査受委託における諸問題について 1)公正競争規約遵守の推進について 2)新型コロナウイルス感染症について 3)受検率向上への取り組みについて 4)コンサルタント会社の動向について ③大規模自然災害への対策（BCP）について ④社員のヘルスケアについて ⑤コンサルタント及び民間クレジットカード会社による活動について ⑥支部または自社において検討課題となっている事項について ⑦その他 1)中国支部からの報告 ⑧今後の開催について	
第3回	令和7年9月24日	①衛生検査所の現状報告及び今後の取り組みについて 1)衛生検査所の雇用状況について 2)人材募集及び長期雇用事例について 3)検体集配車両等の無事故対策等の検討について ②検体検査受委託における諸問題について 1)公正競争規約遵守の推進について 2)新型コロナウイルス感染症を含む感染症について 3)受検率向上への取り組みについて ③大規模自然災害への対策（BCP）について ④社員のヘルスケアについて ⑤民間クレジットカード会社・コンサルタント会社の活動について ⑥支部または自社において検討課題となっている事項について ⑦今後の開催について ⑧その他 1)関東甲信越支部からの報告	
第4回	令和7年10月22日	①衛生検査所の現状報告及び今後の取り組みについて 1)衛生検査所の雇用状況について 2)人材募集及び長期雇用事例について 3)検体集配車両等の無事故対策等の検討について ②検体検査受委託における諸問題について 1)公正競争規約遵守の推進について 2)新型コロナウイルス感染症について 3)受検率向上への取り組みについて ③大規模自然災害への対策（BCP）について ④社員のヘルスケアについて ⑤民間クレジットカード・コンサルタント会社による活動について ⑥支部または自社において検討課題となっている事項について ⑦その他 1)四国支部からの報告 ⑧今後の開催について	

回	開催年月日	審　議　事　項	備　考
第５回	令和８年１月28日	①衛生検査所の現状報告及び今後の取り組みについて 1)衛生検査所の雇用状況について 2)人材募集及び長期雇用事例について 3)検体集配車両等の無事故対策等の検討について ②検体検査受委託における諸問題について 1)公正競争規約遵守の推進について 2)新型コロナウイルス感染症について 3)受検率向上への取り組みについて ③大規模自然災害への対策（BCP）について ④社員のヘルスケアについて ⑤民間クレジットカード・コンサルタント会社による活動について ⑥支部または自社において検討課題となっている事項について ⑦今後の開催について	
第６回	令和８年３月25日	①衛生検査所の現状報告及び今後の取り組みについて 1)衛生検査所の雇用状況について 2)人材募集及び長期雇用事例について 3)検体集配車両等の無事故対策等の検討について ②検体検査受委託における諸問題について 1)公正競争規約遵守の推進について 2)新型コロナウイルス感染症について 3)受検率向上への取り組みについて ③大規模自然災害への対策（BCP）について ④社員のヘルスケアについて ⑤民間クレジットカード・コンサルタント会社による活動について ⑥支部または自社において検討課題となっている事項について ⑦今後の開催について	

（５）精度管理委員会

①　目　的

精度管理調査の実施、評価並びに関連事項の検討

②　構　成

［精度管理調査結果検討委員会］

役職	氏名	所属
担当副会長	河田與一	㈱ファルコバイオシステムズ
委員長	高木康	昭和医科大学
委員	山田俊幸	群馬パース大学
〃	三ツ橋雄之	慶應義塾大学
〃	青柳哲史	東北大学

R8.3.31現在（敬称略）

［精度管理委員会］

役　職	氏　　名	所　　　属
担当副会長	河田　輿一	㈱ファルコバイオシステムズ
委員長	高木　康	昭和医科大学
委員	山田　俊幸	群馬パース大学
〃	三ツ橋　雄之	慶應義塾大学
〃	青柳　哲史	東北大学
〃	久川　聡	㈱保健科学研究所
〃	中川　聡	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	長谷川　修	㈱ビー・エム・エル
〃	小島　卓	㈱エスアールエル

R8.3.31 現在（敬称略）

［精度管理倫理審査委員会］

役　職	氏　　名	所　　　属
委員長	高木　康	昭和大学
委員	山田　俊幸	群馬パース大学
〃	三ツ橋　雄之	慶應義塾大学
〃	青柳　哲史	東北大学
〃	岡田　隆志	リョマホ法律事務所
〃	山本　雅子	㈱プロランド
〃	河田　輿一	㈱ファルコバイオシステムズ

R8.3.31 現在（敬称略）

［精度管理地区委員会］

役　職	氏　　名	所　　　属	支　部
担当副会長	河田　輿一	㈱ファルコバイオシステムズ	
委員長	奥原　俊彦	㈱福山臨床検査センター	中国
副委員長	内山　真由美	㈱ＬＳＩメディエンス	関東甲信越
委員	関根　仁美	㈱エスアールエル	北海道
〃	岩崎　保徳	㈱中央臨床メディエンス	東北
〃	河村　常作	㈱アルプ	北陸
〃	冨川　誠	㈱四国中検	四国
〃	林　博美	㈱メディック	中部
〃	米谷　昌志	㈱ファルコバイオシステムズ	近畿
〃	秋吉　かおり	㈱シー・アール・シー	九州

R8.3.31 現在（敬称略）

③ 開 催 状 況

［精度管理調査結果検討委員会］

回	開 催 年 月 日	審 議 事 項	備 考
第１回	令和８年２月 20 日	①副委員長の選任について ②令和７年度(第51回)臨床検査精度管理調査結果について 1)概要 2)統計学的分析 3)臨床化学 4)免疫血清学 5)血液学 6)微生物学 ③令和７年度(第51回)臨床検査精度管理調査結果検討会について ④臨床検査精度管理調査結果報告書原稿の取り纏め方について ④その他 1)令和７年度(第51回)臨床検査精度管理調査の倫理審査について 2)令和 8 年度(第 52 回)臨床検査精度管理調査について	出席率 100％

［精度管理倫理審査委員会］

回	開 催 年 月 日	審 議 事 項	備 考
第１回	令和７年６月 24 日	①令和７年度(第 51 回)臨床検査精度管理調査における血液学項目調査実施の倫理審査について	出席率 57.1％

［精度管理委員会・精度管理地区委員会合同会議］

回	開 催 年 月 日	審 議 事 項	備 考
第１回	令和７年６月 24 日	①委員の選任について ②令和６年度（第50回）臨床検査精度管理調査について ③令和７年度（第51回）臨床検査精度管理調査について	出席率 88.9％

［精度管理地区委員会］

回	開 催 年 月 日	審 議 事 項	備 考
第１回	令和７年７月４日	①副委員長の選任について ②令和６年度（第 50 回）臨床検査精度管理調査について ③令和７年度（第 51 回）臨床検査精度管理調査について ④令和７年度精度管理地区委員会事業について ⑤今後の開催日程について	平均 出席率 86.7％

回	開催年月日	審議事項	備考
第2回	令和7年10月2日	①令和7年度(第51回)臨床検査精度管理調査について ②令和7年度精度管理地区委員会事業について ③今後の開催日程について	
第3回	令和8年3月31日	①令和7年度(第51回)臨床検査精度管理調査に関する件 ・令和7年度(第51回)臨床検査精度管理調査概要について ・結果検討会について ②今後の精度管理調査に関する件 ・令和8年度(第52回)臨床検査精度管理調査について ③精度管理地区委員会事業について ④今後の開催日程について	

（6）生涯学習推進専門委員会

① 目　的

本協会会員の全従業員を対象とした生涯学習通信講座の適正な実施を推進し、従業員の資質向上を図ることを目的とする。

② 構　成

［生涯学習推進専門委員会］

役職	氏名	所属
担当副会長	近藤　健介	㈱ビー・エム・エル
委員長	橋本　充	㈱江東微生物研究所
副委員長	大黒　豊和	㈱京浜予防医学研究所
〃	岡田　綾子	㈱エスアールエル
委員	大塚　正之	㈱江東微生物研究所
〃	飯塚　昌平	(一財)東京保健会病体生理研究所
〃	中田　隆	㈱江東微生物研究所
〃	百瀬　仁浩	㈱サンリツ
〃	半藤　厚司	㈱ビー・エム・エル
〃	銅崎　慎二	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	齊藤　秀男	㈱昭和メディカルサイエンス
〃	梅本　啓介	㈱ビー・エム・エル
〃	山﨑　祐二	㈱ファルコバイオシステムズ
〃	大久保　一裕	㈱保健科学研究所
〃	永原　めぐみ	㈱ＬＳＩメディエンス

R8.3.31現在（敬称略）

［生涯学習通信講座テキスト及び問題集作成 WG］

役　職	氏　名	所　属
委　員	村瀬　淳子	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	大河内　建太	㈱エスアールエル
〃	市村　剛	㈱エスアールエル
〃	甲斐田　信嗣	㈱エスアールエル

R8.3.31 現在（敬称略）

③ 開催状況

回	開催年月日	審議事項	備考
第１回	令和７年４月 16 日	①2024 年度生涯学習通信講座 提出状況報告 ②2025 年度 生涯学習通信講座の運営方法及びテキスト並びに履修結果確認問題集の作成について 1)募集要項・カリキュラム（案） 2)テキスト改訂について 3)履修結果確認問題集・問題の見直しについて 4)スケジュールについて ③その他 1)委員名簿について 2)修了証発行の可否について 3)優秀賞賞状の文面について 4)生涯学習通信講座受講者数の増加について ④次回開催日及び場所	平均出席率 94.8％
第２回	令和７年９月３日	①2024 年度生涯学習通信講座 総括 ②レポート審査 ③2025 年度生涯学習通信講座受講受付状況 ④2025 年度版テキスト作成について ⑤その他 1)修了証書及び優秀賞賞状について 2)生涯学習推進専門委員会名簿について 3)生涯学習通信講座・受講後アンケートについて 4)染色体分野の情報共有等研修会の実施について ⑥次回開催日	
第３回	令和７年 11 月 21 日	①2025 年度 生涯学習通信講座受講受付状況 ②協会誌『ラボ』11 月号への生涯学習紹介記事（カリキュラム、レポート）の掲載について ③2026 年度生涯学習通信講座運営方法について ④その他 ⑤次回開催日	

回	開催年月日	審　議　事　項	備考
第４回	令和８年２月４日	①2024 年度認定証カード発行状況報告 ②2025 年度生涯学習通信講座提出状況報告 ③2026 年度における運営方法及びテキストと履修結果確認問題集作成の分担並びにスケジュールについて ④その他 1)運営の改定について 2)学びばこへのアクセス数について 3)課題レポート１次評価表について 4)テキストについて 5)委嘱状について ⑤次回開催日	

（７）遺伝子関連検査受託倫理審査委員会

① 目　的

「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」の適正な実施に関する事項の調査・指導

② 構　成

［遺伝子関連検査受託倫理審査委員会］

役職	氏名	所属
担当副会長	河田　與一	㈱ファルコバイオシステムズ
委員長	中山　智祥	日本大学
副委員長	堤　正好	(一社)日本衛生検査所協会
〃	山口　敏和	㈱ビー・エム・エル
委員	菅野　康吉	(公財)佐々木研究所付属杏雲堂病院
〃	黒澤　健司	国立成育医療研究センター
〃	清水　辰一郎	船橋市立医療センター
〃	甲斐田　信嗣	㈱エスアールエル
〃	村瀬　淳子	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	小原　收	(公財)かずさＤＮＡ研究所
〃	山寄　肇史	㈱ビー・エム・エル
〃	古井　陽介	㈱ファルコバイオシステムズ
〃	真柴　新一	㈱保健科学研究所
〃	板橋　眞希	㈱キュービクス

R8.3.31 現在（敬称略）

［遺伝子関連検査・染色体検査諸課題検討小委員会委員］

役　職	氏　　名	所　　属
担当副会長	河田　與一	㈱ファルコバイオシステムズ
担当理事	山口　敏和	㈱ビー・エム・エル
委員		
遺伝子検査担当	古川　洋一	東京大学医科学研究所
〃	小林　紀子	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	糸賀　栄	(公財)かずさＤＮＡ研究所
〃	山寄　肇史	㈱ビー・エム・エル
〃	板橋　眞希	㈱キュービクス
染色体検査担当	黒澤　健司	国立成育医療研究センター
〃	市村　剛	㈱エスアールエル
〃	別府　弘規	㈱エスアールエル
〃	中澤　勧	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	新井　真由美	㈱ビー・エム・エル

R8.3.31 現在（敬称略）

※本委員会では、日衛協会員を対象として 2 年毎に継続実施している遺伝子関連検査・染色体検査ｱﾝｹｰﾄ調査（対象年度は令和 6 年(2024 年)度)を実施した。また、「遺伝子関連検査の質保証体制についての見解」の改定を実行中である。

（８）BCP（事業継続計画）検討委員会

① 目　的

会員衛生検査所間で検査の受委託等の情報共有を可能とするシステム構築等のための具体的将来像、及びその実現に向けたスケジュール案等の検討

② 構　成

［BCP（事業継続計画）検討委員会］

役　職	氏　　名	所　　属
委員長	山下　祐二	㈱ビー・エム・エル
委員	荒木　年夫	㈱大阪血清微生物研究所
〃	大西　彰	㈱四国中検
〃	鈴木　信之	㈱エスアールエル
〃	鈴木　隆雄	㈱エスアールエル
〃	高司　明彦	㈱ファルコバイオシステムズ
〃	高橋　優介	㈱シー・アール・シー
〃	馬場　直樹	㈱保健科学研究所
〃	北條　信吾	㈱ＬＳＩメディエンス
〃	村上　和生	㈱江東微生物研究所
〃	渡部　隆紀	㈱福山臨床検査センター

R8.3.31 現在（敬称略）

※本委員会では、令和 6 年 7 月 25 日付で「衛生検査所のためのＢＣＰガイドライン」を改訂した。会員各社が、本書を参考にするなどして、相互扶助の精神に基づきお互い協力してより実行性の高いＢＣＰを策定されることを強く期待する。

Ⅱ　事業

１　臨床検査普及月間の実施

（１）臨床検査普及月間

臨床検査普及月間事業は令和7年度で48回目を迎え､衛生検査所の精度管理、学術技能の向上、検査体制等の総点検を行い、衛生検査所のレベルアップを図るとともに、臨床検査の正しい認識を社会一般に広め、衛生検査所の信頼を向上させることに努めた。

期　　間　11 月 1 日　～　11 月 30 日
協賛団体　公益社団法人 日本医師会
一般社団法人 日本病院会
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

◎ 臨床検査普及月間大会

臨床検査普及月間大会は、令和 7 年 11 月 27 日（木）13 時 50 分より、東京・千代田区隼町のグランドアーク半蔵門に於いて、日衛協本部との共催により次の内容で実施した。

＜内　容＞

13:50 ～ 15:40　**学術研究発表会**〈関東甲信越支部主催〉
10 演題（会員 9 演題）
16:00 ～ 17:00　**記念式典**
開式の辞
会長挨拶
来賓祝辞
第 26 回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」入選者表彰
永年勤続者表彰　〈対象：関東甲信越支部〉
総代：林　保奈実氏（エスアールエル）
表彰者 260 名（16 施設）
日衛協認定士・認定証授与　〈対象：関東甲信越支部〉
総代：（検査）小島　景冬氏（エスアールエル）
（営業）木村　優太氏（サンリツ）
検査認定士 166 名・営業認定士 53 名（9 施設）
閉式の辞
17:15 ～ 18:15　**記念講演**
演題　天気予報は健康予報 ～心も体も健やかに～
講師　天達　武史氏（気象予報士／防災士）
18:30 ～ 20:00　**懇親会**〈関東甲信越支部主催〉

令和７年度の各支部月間大会開催状況は次の通り。

令和７年度　日衛協各支部臨床検査普及月間大会概要

支部	開催日・会場	主な内容
北海道	11月20日（木） ホテルライフォート札幌 北海道札幌市	研修会：「公正競争規約」 記念講演：「看護師からアーティストへ世界中の障がいある子供達と歩んできた14年」 Ｓａｔｏｌｙ氏　（アーティスト） 記念式典：永年勤続表彰及び日衛協認定士・認定証授与
東北	11月7日（金） ホテルリステル猪苗代 福島県耶麻郡	研修会：「景品表示法と公正競争規約」 学術研究発表会：一般演題５演題 記念式典：永年勤続表彰及び日衛協認定士・認定証授与 記念講演：「猪苗代湖・裏磐梯湖沼群における真水生昆虫とその保全について」 平澤　桂氏 氏　（アクアマリンいなわしろカワセミ水族館　副館長）
日衛協／関東甲信越	11月27日（木） グランドアーク半蔵門 東京都千代田区	学術研究発表会：一般演題１０演題 記念式典：永年勤続表彰及び日衛協認定士・認定証授与並びに一般公募エッセイ最優秀賞授与式 記念講演：「天気予報は健康予報～心も体も健やかに～」 天達　武史氏。　（気象予報士／防災士）
北陸	11月5日（水） ホテル日航金沢 石川県金沢市	学術研究発表会：一般演題1演題 記念式典：永年勤続者表彰 記念講演：「化粧品・医薬部外品の知られざる実態～化粧品編・格付けチェック」 千田　和弘 氏　（株式会社ルバンシュ代表取締役社長）
中部	11月19日（水） ホテルアソシア静岡 静岡県静岡市	学術研究発表会：一般演題５演題 記念講演：「新型コロナウイルス対応を踏まえた静岡県の取組」 山口　貴嗣 氏　（静岡県感染症対策課　企画情報班長） 記念式典：永年勤続表彰及び日衛協認定士・認定証授与
近畿	11月17日（月） ホテルグランヴィア京都 京都府京都市	記念式典：日衛協認定士・認定証授与 記念講演：「丸山ゴンザレスの裏社会ジャーニー出張講義編『社会の光と影』」 丸山　ゴンザレス氏 氏　（ジャーナリスト）
	11月22日（土） 京都国際会議場 京都府京都市	学術研究発表会：一般演題９演題
中国	11月14日（金） ANAクラウンプラザホテル広島 広島県広島市	学術研究発表会：一般演題４演題及び中国支部精度管理調査報告 記念式典：永年勤続者表彰 記念講演：「バスケットボールチーム運営型企業経営論」 浦伸　嘉氏 氏　（株式会社広島ドラゴンフライズ代表取締役社長）
四国	11月14日(金) 高松国際ホテル 香川県高松市	学術研究発表会：一般演題６演題 記念式典：永年勤続表彰 記念講演：「科学を無視した『食の安心・安全』」 川村　理 氏　（香川大学教授）
九州	11月14日（金） レンブラントホテル大分 大分県大分市	学術研究発表会：一般演題８演題及び九州支部精度管理調査報告 記念式典：永年勤続者表彰 記念講演：「高崎山のサル～サルから人へ忘れかけたものへの気づき～」 木本　智 氏　（大分市高崎山管理センター楽猿案内担当班専門員）

（３）協会誌｢ラボ｣臨床検査普及月間特別号の発行

臨床検査普及月間の期間中に発行する協会誌「ラボ」11 月号は、11 月の臨床検査普及月間の活動紹介、特別企画「大規模災害への備えと課題」と題して、日本臨床衛生検査技師会の奥沢悦子理事に、能登半島地震時の活動や災害対策について話していただいた。また生涯学習通信講座のカリキュラムや受講生のレポート、第 26 回一般公募エッセイの入賞者を発表するなどして内容を充実させ、臨床検査普及月間特別号として発刊した。

（４）臨床検査普及月間ポスターの製作

臨床検査及び衛生検査所（協会）の役割を一般の方々に正しく周知願うことを目的に、下記の臨床検査普及月間ポスターを製作し、医療機関へ配布、貼付して目的の達成を図った。

２ 検査精度保証

（１）臨床検査精度管理調査の実施

昭和49年から始まった日本衛生検査所協会主催の精度管理調査は、わが国の代表的な検査室間比較プログラムの１つとして認知されている。令和７年度（第51回）の本調査への参加は234施設であった。検査結果の検査室間比較という調査目的から、参加する検査項目は自施設で日常的に検査をしている項目としており、外部委託している項目は除外する。また、測定結果は日常検体と同じ扱いで１回の測定で得た実測値報告としている。

なお、平成28年度の調査より、プール血清供出施設の負担軽減を図ることを目的として調査試料1～3をコントロール血清に変更している。

臨床化学は、一般化学17項目に酵素８項目と新鮮血液を用いたHbA1cを加えた26項目の調査を実施した。また、今年度の調査でもコントロール血清とヒトプール血清との反応性比較を目的として総蛋白とアルブミン、また会員の状況把握のため血清情報（乳び、溶血）の計４項目を参考調査として実施した。

免疫血清学は、CRP定量、CEA、PSA、CA19-9、AFP、TSH、FT4、RF、フェリチンの９項目を実施した。前回に続き、新規追加調査項目候補として、NT-proBNP の参考調査を実施した。

血液学は、新鮮血液で血球計算５項目と及びインターネットを利用した血液像のフォトサーベイとバーチャルスライドサーベイにプロトロンビン時間測定を加えた９項目を調査した。また、白血球百分率の実数回答を参考調査として実施した。

HbA1c と血球計算、白血球百分率の６項目の調査については、平成26年度（第40回）から全国共通試料に１本化した新鮮血液にて実施している。11月４日に新鮮血液調査試料を発送したが、令和元年に(株)ヤマト運輸が超速便を廃止したことにより、北海道・九州・四国及び日本海側の一部施設には発送翌々日（11月６日）の到着となった。

微生物学は、今回からは東北大学病院の青柳哲史先生を新任として迎えた。胆道感染症が疑われた血液培養検査でのグラム染色検査として、グラム陽性菌、グラム陰性菌、及び細胞に対する染色性を評価した。また分離培養として膀胱炎の原因菌の特定を、感受性検査は、敗血症が疑われた患者の血液培養から分離された細菌から出題された。

統計的分析は昨年と同様に（株）電算に依頼し、集計を行い、今回も調査結果の評価方法は、臨床化学、血液学、免疫血清学については新補正共通CVと各分野の担当委員が決めた指定CVを比較して、評価用CV（コンセンサスCV）を設定し評価した。ただし、独立して評価する測定法群（peer group）の最小参加施設数を５としている。微生物学は、担当委員が総合的に評価した。

そして、基準値（基準範囲、臨床判断値）の出典についての付帯調査も昨年度に続き実施。

なお、報告遅延は、バーチャルスライドサーベイ４施設、微生物学のスライド送付２施設で、計６施設であった。

（１）試料発送日　令和７年11月４日（火）

（２）回答締切日　令和７年11月18日（火）まで

（３）回答形式　　インターネット入力形式

４）実施項目

○臨床化学

【一般化学】

①ナトリウム、②カリウム、③クロール、④総カルシウム、⑤無機リン、⑥総蛋白
⑦アルブミン、⑧総ビリルビン、⑨尿素窒素、⑩クレアチニン、⑪尿酸
⑫ブドウ糖、⑬総コレステロール、⑭中性脂肪、⑮ＨＤＬコレステロール
⑯ＬＤＬコレステロール、⑰血清鉄、⑱ＨｂＡ１ｃ、⑲血清情報（乳び）、
⑳血清情報（溶血）

【酵素】

㉑ＡＳＴ、㉒ＡＬＴ、㉓アルカリ性ホスファターゼ（ＡＬＰ）、㉔ＬＤ、㉕γ－ＧＴ
㉖ＣＫ、㉗コリンエステラーゼ、㉘アミラーゼ

（※下記項目は患者プール血清による参考調査も実施）

⑥総蛋白、⑦アルブミン

（※⑲血清情報（乳び）及び⑳血清情報（溶血）は参考調査）

○血液学

㉙白血球数（ＷＢＣ）、㉚赤血球数（ＲＢＣ）、㉛ヘモグロビン（Hgb）
㉜ヘマトクリット（Hct）、㉝血小板数（ＰＬＴ）、㉞白血球百分率
㉟血液像（インターネットフォトサーベイ）
㊱血液像（バーチャルスライドサーベイ）、㊲プロトロンビン時間測定
（※白血球百分率の好酸球、好塩基球、単球、異形リンパ球、及び実数報告は参考調査）

○免疫血清学

㊳ＣＲＰ、㊴ＣＥＡ、㊵ＰＳＡ、㊶ＣＡ１９－９、㊷ＡＦＰ、㊸ＴＳＨ、㊹ＦＴ４
㊺フェリチン、㊻ＲＦ、㊼ＮＴ－ｐｒｏＢＮＰ
（※ＮＴ－ｐｒｏＢＮＰは参考調査）

○微生物学

㊽塗抹染色、㊾細菌同定、㊿抗菌薬感受性

（５）配布試料

①臨床化学	試料１～９･･･凍結血清、試料１４･･･全血液
②免疫血清学	試料１～３･･･凍結血清、試料１０～１３･･･凍結乾燥血清 試料１４～１５･･･凍結血清
③血液学	試料１６･･･全血液、写真１７～２２･･･日衛協ホームページ 写真２３･･･日衛協ホームページからデータダウンロード 試料２４～２５･･･凍結乾燥血漿
④微生物学	試料２６･･･スライドグラス（２枚）、試料２７・２８･･･凍結乾燥品

（６）参加状況

	臨床化学・血液学・免疫血清学	微生物学
項目別参加施設数	２２４	５８
総参加施設数	２３４	

（２）令和６年度（第 50 回）臨床検査精度管理調査結果検討会の実施

本会は、ウェブ会議システム Zoom を使用した完全ウェブ方式で開催し、今後の衛生検査所の精度管理の向上に努めた。

Ⅰ．開催日

令和７年６月 24 日（火）

一般社団法人日本衛生検査所協会会議室

〒112-0004　東京都文京区後楽 2-3-28　K.I.S 飯田橋２階

Ⅱ．内　容

１．調査結果について

（１）総　　評　昭和大学　高木　康　先生

（２）調査の概要　精度管理委員会　事務局　小島　卓　委員

（３）臨 床 化 学　昭和大学　高木　康　先生

（４）血　液　学　慶應義塾大学　三ツ橋雄之　先生

（５）免疫血清学　群馬パース大学　山田　俊幸　先生

（６）微 生 物 学　鹿島病院感染症診療支援センター　菅野　治重　先生

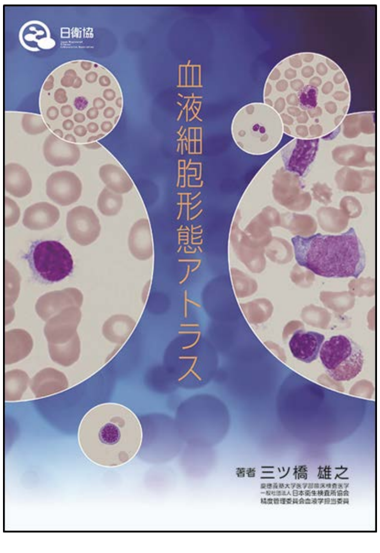
２．特別講演会

「令和５年度 厚生労働科学研究費 補助金地域医療基盤開発推進研究事業「衛生検査所等の適切な登録基準の確立のための研究」提言について」

〆谷 直人　先生（国際医療福祉大学熱海病院）

◎ **血液細胞形態アトラスの活用**

平成 29 年に会員衛生検査所の判読技術の向上と標準化に資することを目的に、当協会の精度管理委員会血液学担当委員で慶應義塾大学医学部臨床検査医学の三ツ橋雄之先生に執筆頂き発刊した本書を、生涯学習通信講座受講生等に無償配布する等して引き続き活用した。



3 教育・研修

（1）第31回学術研究発表会全国大会

会員衛生検査所の精度の向上と学術技術の発展を目的として、学術研究発表会全国大会を開催した。今回もZoomを使用せず、発表者、座長、聴講者が会場である京都府京都市のホテルグランヴィア京都に参集しての開催となった。第31回目を迎えた同大会では、各支部から推薦された19演題が、日頃の研究、研鑽の成果として発表された。

実施日時：令和7年5月20日（火）10時40分
会　　場：京都府京都市・ホテルグランヴィア京都　3階　源氏の間

プログラム
Ⅰ．開　会　挨　拶
　学術委員会 委員長　　近　本　陽　一　（福山臨床検査センター）

Ⅱ．演　題　発　表

血液学

座　長　　矢　島　佑　一　（久留米臨床検査センター）

1．急速な経過を辿り白血化した濾胞性リンパ腫の１症例
○永谷大輔・南勇輝・池内直美・三浦嵩之・伊達諒（中部支部・エスアールエル）
梁瀬博文　（静岡県立 静岡がんセンター　血液管理室）

2．凝固検体の保存条件によるデータへの影響
○森川貴道・平松聖史・福永知恵・柴原千春・島田一彦
（近畿支部・兵庫県臨床検査研究所）

座　長　　杉　田　宏　充　（武蔵臨床検査所）

3．EDTA-2K 採血管の採血量が平均赤血球容積(MCV)に与える影響
○阿部瑞恵・小谷花乃果・辻永秀雄　（北陸支部・日研医学）

免疫血清学

4．ABO 血液型ウラ検査と温度との関係について
○依田有史・伊藤淳之介・山田昭生・成田祐・木全杏奈・大崎あかり・野邊潔恵
佐竹和祥　（北海道支部・第一岸本臨床検査センター）

臨床化学

座　長　　竹　並　　健　（エスアールエル）

５．動脈硬化における small dense LDL 測定の有用性
〇山﨑光・川田聖也・橋田駿・柳原優司・松尾拓郎・宮脇啓輔
(四国支部・四国中検)

６．食事内容による中性脂肪値への影響～随時中性脂肪の基準値と食事内容の関係を探る～
〇桜井麻衣・黒田麻衣子・竹内秀史　(近畿支部・日本医学)

７．フェリチン試薬の比較検討
〇時本康平・竹下優伸・大杉めぐみ　(中国支部・ファルコバイオシステムズ)

微生物学

座 長　宇野　浩一 (日本微生物研究所)

８．低濃度 MEPM 耐性腸内細菌目細菌の検証
〇茅根直子・伊東冬萌・平野英二・古畑健司　(中部支部・ビー・エム・エル)

９．*Mycobacterium abscessus* complex 詳細同定についての検討
〇田中港・坂田竜二・小川美保・佐々木真一・富井貴之・市村禎宏
(関東甲信越支部・ビー・エム・エル)

座 長　古 畑 健 司 (ビー・エム・エル)

10. 硫化水素非産生サルモネラ属菌についての検討
〇藤原祥子・楠奥大介・矢形旭弘・井上智宏・髙橋伸・早崎俊成・奥原俊彦
(中国支部・福山臨床検査センター)

11. 最近増加傾向を示しているペニシリン低感受性を示す溶血性連鎖球菌の推移
〇今泉涼・前原優翔・内山晃史郎・内野亜由美・扇美由紀・宮原明美・伊藤正一
松田淳一　(九州支部・長崎医学中央検査室)

座 長　荒 木 年 夫 (大阪血清微生物研究所)

12. 抗酸菌核酸同定におけるコバス TaqMan48 とコバス 6800 システムの比較検討
〇井原翔平・廣田千代子・岸上知由・嶋戸あゆみ・難波幸枝
(中国支部・岡山医学検査センター)

その他(食品微生物学)

13. 食品微生物検査の自動化による業務効率化
〇佐藤穂奈美・宮澤雅美・渡邊美佳・鎌田歩未・吉田佳容・大鷹哲文・横山浩
濱田邦彦
(東北支部・江東微生物研究所)

その他（尿・糞便等一般検査）

座　長　　　神　谷　　　厚　（札幌臨床検査センター）

14. 尿中有形成分分析装置 AUTION EYE AI-4510 導入による運用効率化の現状と
今後の展望について
〇鹿糠祐理・外崎麻由美・多田勝枝・遠藤善春・岩﨑保徳
（東北支部・中央臨床メディエンス）

遺伝子関連検査

15. 骨・関節感染症における遺伝子検査の有用性の検討
〇神田宏美・佐々木政嘉・岡田清美・伊藤あゆみ・佐藤雄一
（関東甲信越支部・北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所）
内山勝文　（北里大学）

座　長　　　奥　原　俊　彦　（福山臨床検査センター）

寄生虫学

16. 当施設において検出された寄生虫
〇松本周也・泉大輔・野口隆志　（近畿支部・日本医学臨床検査研究所）

病理学

17. 当センターにおける希少な症例とその検査運用について
〇堤潤也・佐藤花厘・稲葉千枝・稲野智子・森博人・大森瑠美（九州支部・QCL）

座　長　　　谷　本　光　章　（四国中検）

精度保証・管理運営（業務改善含む）

18. 全自動遺伝子解析装置コバスオートメーションシステムの導入とその効果について
〇大河内建太・山田芳子・斎藤絵馬・小笠原由美子
（関東甲信越支部・エスアールエル）

19. 当院における尿沈渣中の異型細胞検出向上に向けた取り組み～全自動尿中有形成
分分析装置 UF5000 における Atyp.C の有用性～
〇荒町直人・瀧上洋人・白石こずえ・櫻井香織・今野大成・鳥谷部綾香
（北海道支部・ＬＳＩメディエンス）
大坂峰司・岩井中里香　（苫小牧市立病院臨床検査科）

Ⅲ. 閉　会　挨　拶
学術委員長 副委員長　　奥　原　俊　彦　（福山臨床検査センター）

（２）日本臨床検査専門学院（昭和 54 年開講）

令和 7 年度は、血液学コースを 9 月から 12 月までの 3 ヶ月間、延べ 20 日間にわたり開講し、衛生検査所に勤務する臨床・衛生検査技師及び検査部門従事者の卒後教育を実施した。なお、今年度もウェブ会議システム Zoom による完全ウェブ方式で開催。全 20 回の受講申し込みの総計は、本受講生は 27 名、特別受講者（特定の講義だけを受講）は 47 名であった。また、出席率 60％以上でレポートを提出した受講生 25 名に修了証書が授与された。

第 50 期血液学コースカリキュラム

№.	講　義　内　容	講義日	講　師	所　　属
1	血液検査室の管理 （精度管理・安全管理）	9 月 25 日（木）	佐藤　尚武	順天堂大学医学部 臨床検査医学
2	貧血の診断と鉄代謝	9 月 29 日（月）	藤原　亨	岩手医科大学 中央臨床検査部
3	標準採血法と血液学検査，パニック値 （クリティカルバリュー）	10 月 2 日（木）	大西　宏明	杏林大学医学部 臨床検査医学
4	自動血球計数機の注意点と課題： フラッグ処理，標準化など	10 月 7 日（火）	大川　有希	金沢医科大学病院 中央臨床検査部
5	血栓止血検査とその標準化 （サンプリング含む）	10 月 9 日（木）	桝谷　亮太	大阪医科薬科大学病院 中央検査部
6	末梢血液像，骨髄像作成， 染色法から塗抹標本の見かたまで	10 月 15 日（水）	今田　昌秀	川崎医科大学医学部 附属病院中央検査部
7	造血器腫瘍/リンパ系腫瘍の immunophenotyping（flow cytometry）	10 月 17 日（金）	中西　良太	滋賀医科大学医学部 附属病院検査部
8	リンパ系腫瘍（病態・細胞形態の総論）	10 月 21 日（火）	大石　直輝	山梨大学大学院総合研究部 医学域人体病理学講座
9	血液疾患の遺伝子・染色体検査	10 月 24 日（金）	松井　啓隆	国立がん研究センター 中央病院 臨床検査科
10	血液学検査と AI，医療 DX のための 検査部の役割	11 月 4 日（火）	田部　陽子	順天堂大学薬学部
11	血友病（先天性）と VWD， 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	11 月 11 日（火）	橋口　照人	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野
12	ループスアンチコアグラント （クロスミキシング含む）	11 月 13 日（木）	家子　正裕	札幌保健医療大学 保健医療学部
13	造血器（骨髄系）腫瘍 （病態・細胞形態の総論）	11 月 25 日（火）	河野　浩善	広島市立北部医療センター 安佐市民病院臨床検査部
14	血液細胞形態検査の標準化： 現状と課題	12 月 1 日（月）	新保　敬	獨協医科大学病院 臨床検査センター
15	症例提示による疾患の理解:リンパ腫	12 月 3 日（水）	福島　卓也	琉球大学医学部保健学科 血液免疫検査学分野
16	スタッフの教育と血液学検査の 資格認定制度（同学院，検査血液学会）	12 月 9 日（火）	池本　敏行	滋賀医科大学医学部 附属病院検査部
17	造血器腫瘍の WHO 分類	12 月 10 日（水）	増田　亜希子	虎の門病院分院臨床検査部
18	症例提示による疾患の理解： 凝固異常症	12 月 16 日（火）	窓岩　清治	東京都済生会中央病院 臨床検査医学科
19	症例提示による疾患の理解： 造血器腫瘍	12 月 18 日（木）	牧　宏彰	三井記念病院血液内科
20	血小板減少症（免疫性血小板減少症， 血栓性血小板減少性紫斑病など）	12 月 22 日（月）	金子　誠	三井記念病院臨床検査部

（敬称略）

（３）生涯学習通信講座と資格認定について

令和７年度は第 29 期検査標準講座（生化学、免疫学、血液学、遺伝子関連検査、染色体検査の５コース)、第 28 期営業標準講座を開講し、第 24 回資格認定を実施した。

各講座の支部別受講者数及び認定士数は以下の通り。

令和７年（2025）年度・生涯学習通信講座　受講者数（支部別）

R8. 3. 31

支部 ＼ 受講年度		1996-2024	2025	小計	総計
北海道	検査	123	1	124	213
	営業	89	0	89	
東北	検査	51	3	54	124
	営業	69	1	70	
関東甲信越	検査	2, 293	132	2, 425	4, 886
	営業	23, 85	76	2, 461	
北陸	検査	30	0	30	56
	営業	26	0	26	
中部	検査	59	3	62	114
	営業	51	1	52	
近畿	検査	317	3	320	877
	営業	553	4	557	
中国	検査	84	2	86	143
	営業	56	1	57	
四国	検査	25	0	25	35
	営業	10	0	10	
九州	検査	152	2	154	417
	営業	247	16	263	
全国	検査	3, 134	146	328	6, 865
	営業	3, 486	99	3, 585	

令和６年度（2024 年）講座終了・第 24 回（2025 年審査実施）

日衛協　認定士数

R8.3.31

支部 ＼ 認定年度	第１回～第 23 回 2002～2024 年	第 24 回 2025 年	合計 2002～2025 年
北海道	135	1	136
東北	90	4	94
関東甲信越	3,761	229	3,990
北陸	3	5	8
中部	81	3	84
近畿	593	20	613
中国	99	1	100
四国	18	0	18
九州	249	6	255
全国	5,029	269	5,298

日衛協　認定士数（種別）

R8.3.31

種別 ＼ 認定年度	第１回～第 23 回 2002～2024 年	第 24 回 2025 年	合計 2002～2025 年
検査認定士	2,347	189	2,536
生化学的検査	(929)	(67)	(996)
免疫学的検査	(500)	(16)	(516)
血液学的検査	(753)	(64)	(817)
遺伝子関連検査	(127)	(36)	(163)
染色体関連検査	(38)	(6)	(44)
営業認定士	2,682	80	2,762
合　　計	5,029	269	5,298

※検査の括弧内は分野別内訳

4　広報活動

医療関係者や国民に臨床検査のさらなる周知、広めるための広報活動として、次の事業を行った。

（1）協会誌｢ラボ｣を発行

令和 7 年度も、医療分野での最新動向、臨床検査関連の話題などを主体に毎月 1 号、計 12 号発行した。

令和 7 年度も各号で、署名人が自身の生活習慣・健康観などを語る「ラボ・インタビュー」、エッセイ受賞作品、会員参加型企画である「われらの仲間たち」を「we ♡ labo HELLO KENSA 私のお仕事」、フォトグラファー西川節子氏のフォトエッセイ「令和維新」、各支部の特色ある地域を紹介する「北から南から」、及び日衛協の事業活動報告の記事などを掲載した。

協会誌「ラボ」は、読者を一般の方も対象としているため、専門的になりがちな医療関連の情報や日衛協の方針などを読みやすく、分かりやすい表現となるよう編集している。

（2）単行本及び絵本の発行

国民に、検査の重要性や必要性をさらに知っていただきたいという想いから、日本臨床検査専門医会の協力を得て協会誌ラボに掲載している「検査のはなし」を 8 年分まとめた単行本「専門医が教える お医者さんに行く前に読んでほしい本」、子供向けにうんちの不思議をやさしく学ぶ絵本「うんちってなぁに？」の 2 冊の書籍を発行。両書籍とも、一般書店、Amazon 等のインターネットショップで購入可能となっている。

（３）第 26 回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」

本年度も「検査がくれたもの」をテーマにエッセイを広く一般から募集した。26 回目を数える今回は 205 作品の応募があった。応募エッセイの中から、下記の通り最優秀賞、優秀賞、努力賞の 8 名を選考し、協会紙「ラボ」、及び当協会のホームページで紹介した。

募集期間　令和 7 年 6 月 1 日～8 月 20 日
募集方法　公募ガイド、協会誌「ラボ」、日衛協ホームページに掲載
応 募 数　205 品
各　　賞　最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名、努力賞 5 名

第 26 回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」選考結果

賞	筆　者	タイトル
最優秀賞	山下　美優（神奈川県）	白衣の外
優秀賞	福田　美香子（東京都）	名前のある痛み
優秀賞	太田　夢（北海道）	見つけてもらえた幸運
努力賞	八巻　孝之（オランダ）	検査がくれたもの
努力賞	清水　麗華（埼玉県）	連れウ〇コのススメ
努力賞	金田　侑大（福島県）	Ｗｈａｔ ｄｏ ｙｏｕ ｔｈｉｎｋ？ ～検査結果から始まった父子の会話～
努力賞	岡村　麻美（福岡県）	父が怒った日
努力賞	後藤　里奈（東京都）	二人の未来

（敬称略）

５　日本衛生検査所協会表彰

令和７年５月 20 日（火）に、京都府京都市・ホテルグランヴィア京都にて開催された日本衛生検査所協会令和 7 年度定時総会に於いて協会表彰が行われ、表彰者に賞状及び記念品が贈られた。

令和７年度 日本衛生検査所協会表彰者

表彰種類	氏　名	施　　設　　名	所属支部
優功賞	土井　克泰	㈱第一岸本臨床検査センター	北海道支部
優功賞	大黒　豊和	㈱京浜予防医学研究所	関東甲信越
優功賞	林　　博美	㈱メディック	中部
優功賞	近本　陽一	㈱福山臨床検査センター	中国
優功賞	山下　哲次	（一社）日本衛生検査所協会	―
功労賞	庄司　吉人	札幌臨床検査センター㈱	北海道支部
功労賞	飯塚　昌平	（一財）東京保健会　病体生理研究所	関東甲信越
功労賞	雨宮　安彦	㈱ジャパンメディカル	関東甲信越
功労賞	田所　哲生	㈱サンリツ	関東甲信越
功労賞	松原　雅恵	㈱ファルコバイオシステムズ	北陸
功労賞	鈴木　千広	㈱ＬＳＩメディエンス	中部
功労賞	杉村　利彦	㈱中央微生物検査所	近畿
功労賞	藤尾　耕造	㈱福山臨床検査センター	中国
功労賞	矢島　祐一	㈲久留米臨床検査センター	九州

（敬称略）

※東北、四国支部は該当者なし

６　日衛協アンケート調査報告

会員衛生検査所等を対象に下記の各種アンケート調査を実施した。

・厚生労働省からの依頼による委託業務に係る契約額の増加（率）及びその要因等調査　（令和 7 年 5 月実施）

・厚生労働省からの依頼による海外への再委託に関する調査　（令和 7 年 5 月実施）

・「外部委託血液凝固検体の取扱い」についてのアンケート　（令和 7 年 6 月実施）

・厚生労働省からの依頼による衛生検査所における受託検査料金調査　（令和 7 年 10 月実施）

・デジタル庁からの依頼による「標準型電子カルテに係る支援業務無床診療所における検査分析装置と電子カルテとの連携に関する調査」　（令和 7 年 11 月実施）

・令和 7 年度（第 13 回）遺伝子・染色体検査アンケート調査　（令和 7 年 12 月実施）

・日本臨床検査専門学院第 50 期血液学コースアンケート　（令和 7 年 12 月実施）

7 行政、他団体との連携等

（1）臨床検査関係団体等との連携

令和7年度に本協会から関係団体に次の役員、委員等を推薦し、臨床検査関係団体との連携を図った。

団体名	役職等	令和7年度
臨床検査振興協議会	理事	久川 芳三会長（保健科学）
		松本 誠副会長（SRL）
		馬場 直樹氏（保健科学）
	監事	山下 哲次常務理事（日衛協）
	LDTに関するワーキンググループ	堤 正好顧問（日衛協）（メイン）
		田所 健一氏（BML)(メイン）
		山口 敏和理事(BML)(サブ）
	医療政策委員会 診療報酬改定小委員会	川﨑 邦之氏（日衛協）
		萩原 三千男氏（SRL）
	診療報酬制度小委員会	川﨑 邦之氏（日衛協）
	在宅医療における臨床検査小委員会	小西 信弥事務局長（日衛協）
	将来ビジョン委員会	久川 聡理事（保健科学）
	課題整理小委員会	小西 信弥事務局長（日衛協）
	遺伝子関連検査に関する小委員会	甲斐田 信嗣氏（SRL）
		堤 正好顧問（日衛協）
	大規模災害対策委員会	山下 哲次常務理事（日衛協）
		小西 信弥事務局長（日衛協）
	感染症対策小委員会	堤 正好顧問（日衛協）
		小笠原 由美子氏（SRL）
	広報委員会	橋本 充常任理事
		小西 信弥事務局長（日衛協）
日本臨床衛生検査技師会	臨床検査技師教育検討委員会	川﨑 邦之氏（日衛協）
	IFBLS学会国内委員会	川﨑 邦之氏（日衛協）
	病理FFPE材料を前提とした固定液標準化検討WG	堤 正好顧問（日衛協）
	臨床検査DX検討WG	徳永 博正氏（BML）
		仲本 大樹（SRL）
日本臨床検査標準協議会（JCCLS）	理事	山下 哲次常務理事
		小西 信弥事務局長（日衛協）
	監事	保知戸 和憲専務理事（日衛協）
	ISO/TC212国内検討委員会(団体委員)	山下 哲次常務理事（日衛協）
	WG－1（臨床検査室における品質と能力）	矢島 保良氏（BML）
	WG－5（検査室のバイオリスクマネジメント）	市村 禎宏氏（BML）
	遺伝子関連検査標準化委員会	堤 正好顧問（日衛協）
	ISO/TC272（法科学）国内審議委員会	堤 正好顧問（日衛協）
	小規模検査施設の外部精度管理調査委員会	保知戸 和憲専務理事
	JIS Q15189原案作成委員会	大井 亮氏（SRL）

(一財)医療関連ｻｰﾋﾞｽ振興会	理事	久川　芳三会長(保健科学)
	評議員	保知戸　和憲専務理事(日衛協)
	運営委員会	山下　哲次常務理事(日衛協)
	倫理綱領委員会	小西　信弥事務局長(日衛協)
	評価認定制度委員会	山下　哲次常務理事(日衛協)
	衛生検査所専門部会	久川　聡理事(保健科学)
		小西　信弥事務局長(日衛協)
	調査指導中央委員会副委員長	久川　聡理事(保健科学)
	医療関連サービスマーク調査指導員	各支部から24名
(公社)日本医師会	臨床検査精度管理検討委員会	五十嵐　清子氏(病体)
日本医療機能評価機構	評議員	久川　聡理事
厚生労働省	NIPT等の出生前検査に関する専門委員会	堤　正好顧問(日衛協)
	全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会	小見　和也氏(SRL)
	Dry データ解析チーム	郡　健一朗氏(SRL)
		湯原　悟志氏(SRL)
経済産業省	海外渡航者新型コロナウイルス検査センター運営委員会	久川　聡理事(保健科学)
東京都	衛生検査所精度管理検討委員会	久川　聡理事(保健科学)
		五十嵐　清子氏(病体)
	東京都感染症医療体制協議会 新型コロナウイルス検査体制部会	久川　聡理事(保健科学)
日本検査血液学会	凝固検査標準化ワーキンググループ	奥原　俊彦氏(福山臨床)
		関根　康司氏(江東微研)
	ありかた委員会	伊坂　真由美(LSIﾒディエンス)
		山下　哲次常務理事(日衛協)
医療情報システム開発センター(MEDIS－DC)	臨床検査項目標準マスター運用協議会	小西　信弥事務局長(日衛協)
		馬場　直樹氏(保健科学)
		柴田　修也氏(江東微研)
		村上　和生氏(江東微研)
JLACセンター	付番部門審議委員会	小西　信弥事務局長(日衛協)
		馬場　直樹氏(保健科学)
		柴田　修也氏(江東微研)
		村上　和生氏(江東微研)
日本医学会	出生前検査認証制度等運営委員会	堤　正好顧問(日衛協)

（2）サービスマーク認定事業への参画

衛生検査所業務サービスマーク認定状況

（令和8年2月1日現在）

1　認 定 施 設 数

第８９回認定	R6．6．1	（新規）	0	（うち日衛協会員 0）
		（更新）	14	（うち日衛協会員 11）
第９０回認定	R6.10．1	（新規）	1	（うち日衛協会員 0）
		（更新）	9	（うち日衛協会員 6）
第９１回認定	R7．2．1	（新規）	1	（うち日衛協会員 1）
		（更新）	21	（うち日衛協会員 19）
第９２回認定	R7．6．1	（新規）	1	（うち日衛協会員 0）
		（更新）	19	（うち日衛協会員 16）
第９３回認定	R7.10．1	（新規）	0	（うち日衛協会員 0）
		（更新）	20	（うち日衛協会員 17）
第９４回認定	R8．2．1	（新規）	2	（うち日衛協会員 0）
		（更新）	19	（うち日衛協会員 13
		合　計	107	（うち日衛協会員 83）

2　業 務 数 及 び 業 務 別 認 定 施 設 数

（業務数別）

	総 数	7業務	6業務	5業務	4業務	3業務	2業務	1業務	血清分離*
総　　数	107	14	25	21	11	11	6	19	1
日衛協会員	83	12	21	18	11	9	3	9	0
会　員　率	77.6%	86%	84%	86%	100%	82%	50%	47%	0%

＊ １業務のうち血清分離のみ

（業 務 別）

		微生物	血清	血液	病理	寄生虫	生化学	免疫	尿・糞便	遺伝・染色	血清分離
総　　数	107	61	40	79	47	32	78	42	39	42	1
日衛協会員	83	54	35	67	36	29	67	35	33	30	0
会　員　率	77.6%	89%	88%	85%	77%	91%	86%	83%	85%	71%	0%

衛生検査所業務医療関連サービスマーク認定数
（都 道 府 県 別）

（令和7年2月1日現在）

都道府県	認定施設数		登録衛生検査所数	備 考	都道府県	認定施設数		登録衛生検査所数	備 考
	全 数	日衛協会員				全 数	日衛協会員		
北海道	4	3	61		滋賀県	2	2	10	
青森県			12		京都府	6	5	29	
岩手県	2	2	10		大阪府	11	8	55	
宮城県	2	2	17		兵庫県	3	2	30	
秋田県			8		奈良県	2	2	8	
山形県			12		和歌山県	1	1	10	
福島県	1	1	17		鳥取県			7	
茨城県	2	1	16		島根県			6	
栃木県	1	1	17		岡山県	2	1	10	
群馬県	1	1	15		広島県	1	1	29	
埼玉県	8	5	25		山口県			17	
千葉県	4	3	31		徳島県			9	
東京都	15	10	120		香川県	1	1	13	
神奈川県	6	5	46		愛媛県			8	
新潟県	1	1	24		高知県			6	
富山県			4		福岡県	4	4	49	
石川県	2	2	14		佐賀県			4	
福井県	1	1	5		長崎県	1	1	20	
山梨県	1	1	11		熊本県			23	
長野県	3	3	23		大分県			10	
岐阜県	5	3	13		宮崎県			10	
静岡県	4	4	35		鹿児島県	1	1	22	
愛知県	5	2	46		沖縄県	1	1	15	
三重県	3	2	11		合 計	107	83	993	

（注）登録衛生検査所数は令和3年1月1日現在である。

８　策定・公表したガイドライン及び文書

下記ガイドライン、マニュアル、及び文書を策定または改訂し公表したため、周知を図った。

1　細菌検査検体取り扱いガイドライン第３版　（令和７年４月公開）

平成 17 年度の日本衛生検査所協会精度管理調査における微生物学調査項目の百日咳の検査結果で参加施設の内、約半数の施設で分離できず対応できなかった反省から、本ガイドラインは作成された。作成から約 10 年を経過し、また新型コロナウイルス感染症の流行等により「感染症法」等の関連する法律が改正されたことから令和５年６月に第２版に、そして、記載内容見直しのため令和７年３月に第３版に改訂した。

2　病理組織検査結果報告書に関する実態調査の結果を受けその適正化へのご協力のお願い　（令和７年５月公開）

令和７年１月に実施した「病理組織検査結果報告書に関する実態調査」により、一部の会員検査所の報告書等に不適切なものが存在することが判明した。調査結果に関して日衛協理事会で議論がなされ、各社のホームページにおける検査説明、および非会員施設に対する適正化についても是正するべき課題であると認識をしたため、会員に対して不適切な状況があれば直ちに是正いただきたい点を整理し、要請文書として策定した。なお、「非会員施設においても不適切な状況があれば是正を求める」、となっているため、取引のある非会員施設で不適切な状況が見られた場合、本書を渡すなどして是正対応を要請されたい。

3　「検査結果に届出疾患であることを明示する取り組み」について　（令和８年２月公開）

令和７年６月に一般社団法人日本小児感染症学会、一般社団法人日本感染症学会、一般社団法人日本臨床微生物学会の３学会から要請された、検査会社から返却される検査結果から当該疾患が届出対象であることが明確に分かる仕組みについて、３学会および日衛協それぞれの理事会において覚書（「感染症届出に関する注意喚起文言の運用に関する覚書」）が承認され、2026 年１月 26 日（月）に締結された。下記本覚書に基づき、日衛協は会員衛生検査所に対して本取り組みへの協力を推奨していく。ただし、法的な義務ではないため、日衛協会員衛生検査所によって対応に差が生じ得ること、また各医療機関内での医師への結果返却方法については、各施設の判断に委ねられることとなる。

細菌検査検体取り扱いガイドライン
第3版

一般社団法人日本衛生検査所協会

目　次

改訂履歴　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
Ⅰ. 検体採取時の一般的注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1. 【検体採取のタイミング】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 【常在菌の混入を避ける】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 【検体の乾燥を避ける】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4. 【嫌気性菌の存在を疑う場合】　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
5. 【検体保存は冷蔵保存が原則】　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
6. 【検体の保存温度】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
Ⅱ. 検査検体と採取方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1. 【呼吸器】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 【消化器】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 【泌尿器、生殖器】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4. 【血液、穿刺液】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. 【その他】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
Ⅲ. 検体の提出方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
Ⅳ. 検体の保存と搬送　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
Ⅴ. 安全衛生　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
Ⅵ. 個人情報保護　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
参考文献　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
学術委員会委員名簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

令和7年5月20日

会員各位

一般社団法人日本衛生検査所協会

会長　　久川芳三

病理組織検査結果報告書に関する実態調査を受けその適正化に向けたご協力のお願い

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

先般は、病理組織検査結果報告書（以下、報告書）に関する実態調査にご協力いただき、ありがとうございました。

医療機関で行われる病理診断とわれわれ登録衛生検査所（以下、検査所）が行っている病理組織検査には明確な違いがあるにもかかわらず、医療機関で同様に扱われていることがあります。今回行った調査の目的は、その実態を把握し不適切な事例がある場合は適正化に向け是正を推進することにあります。

病理診断は医師及び保健指導に属する行為のうち、医師が行うので無ければ保健衛生上危害を生ずる恐れのある医行為に属しています。一方、われわれ検査所における「病理検査報告」は医行為では無く診断の補助となる検査です。そのため、検査所が発行している検査案内書等に病理診断を行っていると誤解されるような文言を使用するべきでは無いと、平成28年（2016年）日本病理学会（以下、病理学会）理事長よりメッセージが発出されています。その中で検査所に対し以下の2点の要望をいただきました。

① 検査案内書においては、「病理診断」等という文言を織り込まないよう、強く要望します。

② 報告書の助言に携わる病理医は、報告書に「病理診断」等の表記をしないように要望します。

本件に関して日本衛生検査所協会（以下、日衛協）では、平成29年（2017年）7月の理事会において、会員検査所に対して、報告書に「病理診断」等の文言を使用せず、「病理報告」に統一するよう注意喚起を行っています。

しかしながら、今回行った調査によって、一部の会員検査所の報告書等に不適切なものが存在することが判明いたしました。本調査は、日衛協に所属する全会員検査所104検査所のうち81検査所（77.8%）にご回答いただき、このうち自検査室内で病理組織検査を行っているとご回答いただいた51検査所（63.0%）を分析対象としました。その結果、病理診断を行っていることを示唆する文言を使用している、つまり不適切な対応をしていたのは、検査案内書では3検査所（6%）、報告書の名称では2検査所（4%）、報告書の検査結果の欄では13検査所（25%）、報告書で検査を対応した病理医名の欄では11検査所（22%）、および病理医が記載す

る所見欄の記載の指導では 22 検査所（43%)でした。また、報告書に検査を実施した検査センター名を記載していない、検査結果の責任の所在の明確化という意味で不適切な対応をしていたのは 5 検査所（10%）でした。

上記結果について、令和 7 年（2025 年）3 月の日衛協理事会で議論がなされ、各社のホームページにおける検査説明、および非会員施設に対する適正化についても是正するべき課題であると認識をいたしました。

以上の点を踏まえ、日衛協会員施設の皆様におかれましては下記の 7 点について貴検査所の状況をご確認の上、「診断」等の文言を使用してあたかも病理診断を行っていると思われるような不適切な状況があれば、直ちに是正していただくようお願いする次第です。

1. 検査案内書およびホームページの検査案内に「診断」等の文言を使用しない
2. 報告書の名称（題名）に「診断」等の文言を使用しない
3. 報告書の検査結果の部分に「診断」という文言を使用しない
4. 報告書の検査判定を行った病理医名を表示する部分の説明（前の部分）に病理診断医や診断医というような「診断」という文言を使用しない
5. 病理組織検査に携わる病理医に対し、検査報告書の所見欄に「診断」の文言を使用しないよう徹底する
6. 報告書には責任の所在の明確化という意味で検査所名を記載する
7. 非会員検査所の報告書等において「診断」等の文言の使用があれば是正を求める

検査所が報告する検査結果は「病理診断」ではありませんが、診療においては他の検査と同様に診断をするために重要な役割を担うことに変わりありません。本協会では検査所で行っている病理組織検査の精度向上と同様、今回の報告書等の適正化も是正するべき重要課題と認識しています。そのため、さらなる是正に向け今後も調査を継続して参りますので、引き続き是正に向け、皆様のご協力をお願いいたします。

敬具

感染症届出に関する注意喚起文言の運用に関する覚書

一般社団法人日本小児感染症学会、一般社団法人日本感染症学会及び一般社団法人日本臨床微生物学会（以下「甲」という。）と一般社団法人日本衛生検査所協会（以下「乙」という。）は、甲から乙に対する 2025 年 6 月 17 日付「届出疾患の検査項目が陽性時の注釈記載について（3 学会からの要望）」（以下「本件要望」という。）に鑑み、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）第 12 条第 1 項に基づく届出の促進を目的として、以下のとおり合意し、覚書（以下「本覚書」という。）を締結する。

第 1 条（目的）

1. 本覚書は、感染症法に基づく医師の届出義務の履行を支援する目的で、検査結果報告書への注意喚起文言の記載に関する基本的事項を定めるものとする。
2. 本覚書に基づく注意喚起文言の出力は、医療の質の向上に資することを目的とする。

第 2 条（努力義務）

1. 乙は、加盟する衛生検査所（以下「会員衛生検査所」という。）に対し、本覚書の趣旨に基づき、本件要望に関する協力について推奨する。
2. 前項の協力は各会員衛生検査所の任意の判断に委ねるものとし、乙は各会員衛生検査所の自主的な判断に介入しない。
3. 検査結果を評価し感染症の診断を行うことやその届出を行うことは法令に基づく医師の義務であり、第 1 項の協力についての通知の存在・内容、各会員衛生検査所の協力の有無が、なんらの各会員衛生検査所の法的義務の根拠となるものではない。
4. 注意喚起文言（次条に定める。）の出力未対応、システム上の不具合による誤出力、その他プログラムミス等による不適切な出力について、乙及び会員衛生検査所は責任を負わないものとする。

第 3 条（注意喚起文言）

1. 乙は、注意喚起文言のひな形を策定し、加盟する衛生検査所に通知する。
2. 会員衛生検査所は、前条第 1 項の協力を行う場合でも、前項の注意喚起文言を基本としつつ、その本質的な意味を損なわない範囲で表現を変更するなど、みずからが行う注意喚起文言について決定することができる。

第 4 条（免責事項）

1. 注意喚起文言の有無にかかわらず、検査結果を評価し感染症の診断を適切に行うことや感染症法の定める届出義務は医師が負う。
2. 本覚書に基づく注意喚起は、医師の届出義務を補助する情報提供であり、乙及び会員衛生検査所は、医師の診断や届出義務の履行について責任を負わない。

第５条（運用指針）

1. 乙は、会員衛生検査所向けに運用指針を策定する。
2. 運用指針には以下の事項を含むものとする。
    - 注意喚起を行う対象疾病のリスト
    - 文言使用に関する具体的な指針
    - 届出対象疾病の変更に関する対応手順

第６条（注意喚起文言の凡例）

1. 甲は、乙に対して注意喚起文言の出力に関する凡例を提示するものとする。
2. 前項の凡例には以下の事項を含むものとする。
    - 対象となる検査項目
    - 推奨される注意喚起文言
    - 文言出力の表示位置等の推奨事項
    - その他必要な技術的指針

第７条（法改正時の対応）

1. 甲は、感染症法の改正があった場合、速やかに乙に対して書面（電磁的方法を含む。）にて通知するものとする。
2. 前項の通知には、以下の事項を含むものとする。
    - 改正の概要
    - 改正の施行日
    - 届出対象疾病の変更内容
    - その他、会員衛生検査所が対応するために必要な事項
3. 感染症法改正により届出対象疾病が追加された場合、甲は追加された疾病に関する注意喚起文言の凡例を乙に提示するものとする。
4. 前項の凡例提示は、可能な限り法改正の施行に先立って行うものとする。

第８条（再受託）

1. 会員衛生検査所が検査業務を再受託する場合においては、本覚書に基づく注意喚起文言（第３条第２項によるものを含む。）が出力されていることを再委託先である衛生検査所に通知するよう努める。
2. 前項に伴い、乙は、会員衛生検査所に以下の事項について周知する。
    - 必要に応じた再委託先との契約における注意喚起実施の明記
    - 必要に応じた注意喚起文言の使用指導
    - 品質管理基準の明確化
    - 報告体制の確立

第９条（効果検証）

1. 甲乙は、定期的に本取り組みの効果を検証する場を設けるものとする。

2. 検証結果に基づき、必要に応じて本覚書の内容を見直すことができる。

第10条（情報発信・情報共有）

1. 甲は、本取り組み開始時に、広く衛生検査所向けに本取り組みへの協力を依頼する文書をウェブサイト等において発信するものとする。
2. 甲乙は、本取り組み開始時に、医療機関向けに本取り組みへの趣旨を周知する文書をウェブサイト等において発信するものとする。
3. 甲乙は、本覚書に基づく取り組みに関する情報を相互に共有するものとするとともに、ウェブサイトで公開し、その内容を周知する。
4. 甲乙は、医療機関等からの意見や要望（クレームを含む）について、共有を行う。

第11条（有効期間）

1. 本覚書の有効期間は、締結日から1年間とする。
2. 期間満了の3ヶ月前までに甲乙いずれからも書面による異議の申出がない場合、さらに1年間延長されるものとし、以後も同様とする。

第12条（協議）

本覚書に定めのない事項または解釈に疑義が生じた事項については、甲乙誠意をもって協議の上、解決するものとする。

本覚書の成立を証するため、本書4通を作成し、甲乙記名押印の上、各会1通を保有する。

令和8年1月16日

甲：一般社団法人日本小児感染症学会
　〒162-0801　東京都新宿区山吹町358-5
　　理事長　齋藤　昭彦　　印

一般社団法人日本感染症学会
　〒113-0033　東京都文京区本郷3-28-8　日内会館2F
　　理事長　松本　哲哉　　印

一般社団法人日本臨床微生物学会
　〒141-0022　東京都品川区東五反田4-7-25　TYビル3階
　　理事長　松本　哲哉　　印

乙：一般社団法人日本衛生検査所協会
　〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3番28号 K.I.S飯田橋2階
　　会長　　久川　芳三　　印

９　賀詞交歓会

賀詞交歓会は、令和７年より日衛協本部事業として開催され、多数の来賓、会員、賛助会員の参加があった。

１　日　　　時　令和８年１月５日（月）15：00 ～ 17：00

２　場　　　所　アルカディア市ヶ谷　3F・「富士」
住所　東京都千代田区九段北４丁目２番25号
電話　03-3261-9921（代表）

３　参 加 人 数　321名（会員126名、賛助180名、来賓15名）

４　来　　　賓

厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室	室　　長	佐藤　俊幸氏
厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室	室長補佐	藤本　敬久氏
一般社団法人日本臨床検査振興協議会	理 事 長	村上　正巳氏
一般社団法人日本臨床検査専門医会	副理事長	田部　陽子氏
一般社団法人日本臨床検査専門医会	前理事長	〆谷　直人氏
一般社団法人日本臨床検査医学会	常任理事	森兼　啓太氏
公益社団法人日本臨床検査標準協議会	会　　長	高木　　康氏
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	代表理事会長	横地　常広氏
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	専務理事	深澤　恵治氏
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	専務理事	小松　京子氏
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	事務局長	橋爪　良雄氏
一般社団法人日本臨床検査薬協会	会　　長	小野　徳哉氏
一般社団法人日本臨床検査薬卸連合会	会　　長	中村　和彦氏
一般財団法人医療関連サービス振興会	理 事 長	松谷有希雄氏
公益社団法人東京都臨床検査技師会	会　　長	原田　典明氏

５　次回開催予定
日　時　令和９年１月５日（火）15：00 ～ 17：00
会　場　アルカディア市ヶ谷　3F・「富士」